

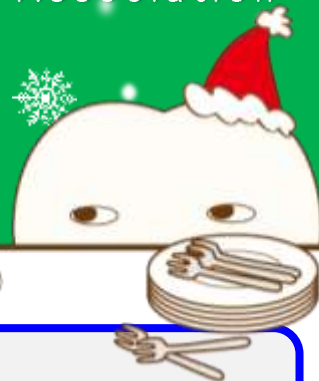
広島市歯科医師会だより



12月号

Hiroshima City Dental Association

No.176 (R3.12.11)



目次

表彰

川原正照顧問 厚生労働大臣表彰(保健事業功労者).....	1 ページ
新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種お礼状について.....	2 ページ

行事報告

令和3年度 全国学校保健・安全研究大会.....	2 ページ
令和3年度 「8020」いい歯の表彰式.....	3 ページ
第36回 広島県歯科保健文化賞にて、本会推薦のEtak協議会(団体の部) 倉本晶子前広島県歯科衛生士会会長(個人の部)が受賞さる.....	3 ページ
令和3年度 学校歯科医協議会.....	4 ページ
令和3年度 広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰式.....	5 ページ
「歯・口の外傷マニュアル」及び「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式.....	5 ページ

支部だより

中区支部.....	6 ページ
東区支部.....	8 ページ
南区支部.....	8 ページ
西区支部.....	9 ページ

各部からの報告

広島市医療安全推進協議会よりーこんな医療トラブルが起こっていますー(総務部).....	11 ページ
総務部より連絡(総務部).....	11 ページ
今月の知っておきたいこと(広報部).....	12 ページ
誰もが納得! I L♥ve 広島弁じゃけえ。(広報部).....	15 ページ
「皆さん知ってますか?」~広報部のみみより情報~.....	16 ページ
FMちゅーピー(広報部).....	17 ページ
YouTube(広報部).....	17 ページ

会員ひろば

新入会員紹介.....	18 ページ
職員挨拶.....	18 ページ

会長コラム『柔しく剛く』

対面によるコミュニケーションで得られるもの ー会員同士が心を寄せあわせるためにー.....	19 ページ
新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み.....	20 ページ
11月定例理事会報告.....	21 ページ
LINE公式アカウント 友達募集.....	23 ページ

表彰

川原正照顧問 厚生労働大臣表彰(保健事業功労者)

「厚生労働大臣表彰(保健事業功労者)」に決定した本会の川原正照顧問に、11月29日(月)、山崎健次広島県歯科医師会会長より表彰状が授与された。



表彰された川原正照顧問

本来であれば、この表彰は、各県のお持ち回りで開催される「全国歯科保健大会」(今年は11月13日に宮崎県で開催)の式典で行われるところ、コロナ禍での開催となった為、各県歯会会長より授与されることとなったものである。川原正照顧問は、「これまで皆様が支えてくれたおかげで、このような素晴らしい賞を頂く事ができました。ありがとうございます。」とコメントした。

新型コロナウイルスワクチン大規模集団接種お礼状について

11月4日に松井一寛広島市長より、広島市と4地区共同で行った新型コロナウイルスワクチン集団接種事業に対しまして、礼状をいただきました。

改めて、本会の協力医68名に感謝を申し上げるとともに、引き続きの会務へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

一般社団法人広島市歯科医師会
会長 熊谷 宏 様

拝啓 向寒の候、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度の新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に当たりましては、格別の御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

お陰をもちまして、本市の接種率は、11月4日現在、1回目の接種率は79.8%、2回目の接種率は77.1%となるなど、11月末日には、接種を希望する多くの市民が2回の接種を終える見込みとなっています。このように、当初の予定を大幅に前倒しし、迅速に接種を進めることができましたのも、貴会のひとかたならぬ御尽力のたまものです。重ねてお礼申し上げます。

今後につきましては、国の方針に基づき、早ければ12月から3回目となる追加接種を進めていくことになります。本市としましては、追加接種を希望する方がその希望に応じて円滑に接種を受けることができるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

貴会におかれましては、今後とも、本市行政の推進に一方ならぬ御指導・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

まずは、略儀ながら、書中をもってお礼申し上げます。

敬具

令和3年11月4日

広島市長 松井一寛

行事報告

令和3年度 全国学校保健・安全研究大会

日時：10月28日(木)午後1時・29日(金)午前9時30分

場所：オンライン開催（Zoom）

標記大会が岡山県「ピュアリティまきび」にて2日間に渡り開催された。今般の新型コロナウイルス感染症への対策としてウェブ開催となり、本会からは石田一輝理事が参加した。

本大会は昭和26年度に初めて開催され、昨年度の富山大会が中止となったことから2年ぶりの開催となった。大会の目標として、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進を図り、健康で安全な生活の実現に向けて主体的に取り組むことができる子供の育成を目指すこととしている。

1日目は開会式後に表彰式が行われ、令和3年度文部科学大臣表彰として、「学校保健及び学校安全表彰」並びに「学校安全ボランティア活動奨励賞」が発表された。続いて記念講演が行われ、昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門客員教授である二木芳人氏を講師に迎え、「新型コロナウイルス感染症の現状と今後—我々はこの感染症とどのように向き合っていくのか—」と題してお話があった。新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延を受けて、今後は感染症に強い社会を形成することが課題であり、感染症対応の組織・体制の構築が重要であると述べられた。そのためには、危機管理能力の高い感染対策中央組織を形成し、対策案の立案と実行に一定以上の権限を付与することも考えられるとのことであった。その他、感染症対応の企業努力(診断技術、治療薬、ワクチン等)を技術的・経済的・法的に支援すべきであるとも述べられた。

2日目は課題別研究協議会が開催された。歯・口の健康づくりの項目では、生涯にわたる健康づくりを実践す

るためには、自分の歯や口の健康に関心を持ち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育てることが大切であり、そのための歯・口の健康づくりを目指した学校歯科保健活動をどう進めるべきかを協議した。歯科健診の結果の活用の仕方や、歯科保健指導の実践例など、具体的な数多くの創意工夫についても報告があった。次に、学校経営と保険組織活動の項目では、心豊かにたくましく生きる力を育てるためには、児童生徒の発達の段階を考慮して学校教育活動全体で取り組む必要があり、そのための学校経営の進め方と保健主事等の果たす役割並びに学校、家庭および地域社会が一体となった組織活動の効果的な取り組みについて協議した。各学校において行われてきた実践や活動の蓄積と、効果的に機能している既存の組織体制を活用しながらも、変化の激しい社会において柔軟にアップデートさせていく姿勢が大切であるとのことであった。以上で本大会は閉会となった。

近年の社会環境や生活環境の急激な変化は、子供の心身の健康にも大きな影響を与えており、様々な課題を生じさせている。それらの解決を図るためには、学校全体として学校保健・学校安全に取り組む校内の組織体制を整備するとともに、学校・家庭・地域が一体となり、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」を育む教育を推進していく必要がある。本大会において各発表者の多数の研究成果を学ぶことができたことで、生涯を通じて心豊かにたくましく生きる子供の育成に役立てたらと感じさせる2日間であった。

令和3年度「8020」いい歯の表彰式

日時：11月8日(月)午後2時

場所：広島市役所本庁舎10階「市長公室」

標記表彰式が、広島市8020運動・歯周病予防推進協議会(本会、安佐歯会、佐伯歯会、安芸歯会、広島市)の主催で松井市長臨席のもと開催された。受賞者は男性400名、女性494名の計894名(本会管内303名)で、最高齢は100歳であった。この表彰式は、例年広島市役所2階講堂にて多くの受賞者が参加して開催されるが、昨年に引き続き、今年も新型コロナウイルス感染症の影響で縮小開催となり、各地区から4名の代表者が出席し、市長公室にて開催された。

初めに、熊谷宏会長より、健康寿命の延伸にはお口の健康がかかせず、受賞者の方々には自身の経験をもとにお口の健康の大切さを広めていただくことをお願いし、コロナ禍にあっても安心して歯科健診を受けていただきたいと挨拶があった。

続いて、松井一寛広島市長の挨拶では、口は健康の入り口であり、8020を達成するためには若いころから定期的な歯科健診が必要であることから、本年より節目年齢歯科健診に45歳が追加され、歯周病予防に重点的に

取り組むと話があった。表彰式では、各地区の代表者4名の参加者に表彰状と記念品が贈られた。

その後、若林新三広島市議会副議長から来賓祝辞があり、授賞式を終了した。

受賞者からは、子供のころに祖母から塩みがきや、抜けた乳歯を「ねずみの歯をかえとくれ」と屋根や縁の下へ投げる風習など、歯を大切にすることを教わったので、自分も孫に伝えていきたい、との声も聞かれた。当日はテレビ局の取材もあり、本事業は、歯と口の健康の大切さを市民に伝える絶好の機会となった。



表彰式の様子

第36回 広島県歯科保健文化賞にて、 本会推薦のEtak協議会(団体の部)、 倉本晶子前広島県歯科衛生士会会長(個人の部)が受賞さる

日時：11月16日(火)午後1時30分

場所：広島市歯科医師会「会長室」

広島県歯科衛生連絡協議会が主催し、現場において献身的に歯科保健向上のために地道に活躍している個人及び団体を表彰する広島県歯科保健文化賞において、今回本会が推薦したEtak協議会(団体の部)、倉本晶子前広島県歯科衛生士会会長(個人の部)が受賞された。

Etak協議会は、二川浩樹Etak協議会会長(広島大学大学院医歯薬保健学研究院教授)が平成20年に開発した「Etak」ならびに関連商品を、地震や大雨による被災地や避難所・観光地あるいは教育現場などに寄贈してきた協議会である。昨年8月には、新型コロナウイルス感染

拡大防止の為、広島市歯科医師会会員に「Etakin フルプロテクション ZERO 2L」を多数寄贈頂いたことは記憶に新しい。

個人の部で受賞された倉本氏は、前広島県歯科衛生士会会長であり、広島市歯科医師会が毎年行っている「おくちの健康展」などで連携を深めてきた。

本来ならば、この表彰式は「8028達成者表彰」と同時に山崎健次広島県歯科衛生連絡協議会会長、審査委員である谷本幸太郎広島大学歯学部長らの臨席のもと、広島県知事賞、広島県歯科衛生連絡協議会長賞、日本歯科医

師会賞、中国新聞社賞の表彰が行われる荘厳なものであるが、今回は新型コロナウイルス感染症のために、推薦

団体における表彰となった。



贈呈式に出席した熊谷宏会長、瓜生賢副会長、
(左)高田祐司社長(株式会社 Campus Medico)、二川浩樹 Etak 協議会会長
(右)倉本晶子前広島県歯科衛生士会会長

令和3年度 学校歯科医協議会

日時：11月18日(木)午後7時

場所：県歯会館2階「ハーモニーホール」

標記の会が濱岡代枝地域歯科保健部副委員長の司会のもと開催された。

熊谷宏会長の挨拶に続き、学校歯科医・保育園嘱託歯科医を退任する土江健也氏(比治山小学校)、大坪稔氏(吉島中学校)、別木亮一氏(戸坂城山小学校)、森永行雄氏(段原小学校)、細原賢一氏(大手町商業高等学校)が紹介された。退任学校歯科医を代表して細原氏に熊谷会長より感謝状が贈呈された。次に、新たに就任する田中亮三氏(神崎保育園)、香川次郎氏(幟町小学校)、二川陽子氏(山田小学校)、河内勝史氏(元宇品保育園)、辰本将哉氏(吉島中学校)、新谷奈穂子氏(戸坂城山小学校)、岡崎文彦氏(比治山小学校)、橋岡優氏(段原小学校)が紹介された。昨年度はコロナ禍のため講演のみのリモート開催であったことから、2年分の紹介となった。

続いて、「子どもの口は、ふしぎでいっぱい」と題して、岡崎好秀国立モンゴル医学科学大学客員教授による講演が行われた。歯固めの使用やにらめっこや口笛、吹き戻しなどの口遊びといった、従来の日本の子育ての手法には、子どもの口の発育に意味のあるものであったとの説明と共に、口腔機能低下症が一因と考えられる歯列不正

の発生機序および現状が示された。近年、保険点数算定もできるようになってきた小児の口腔機能低下症だが、ほとんど算定が見られないこと、それに引き換え口腔機能低下が疑われる小児が増加していることや症状に対する訓練方法を、映像も交えながらわかりやすく解説された。

講演終了後、瓜生賢本会副会長の閉会の辞により盛況のうちに閉会した。本協議会には、歯科医師、歯科衛生士、スタッフだけでなく、学校教職員、保育園職員にも出席していただいております。子どもの口に対する関心の高さがうかがわれた。



講演をする岡崎好秀先生

令和3年度 広島市保育園及び認定こども園保健功労者表彰式

日時：11月25日(木)午後1時30分

場所：広島市役所本庁舎10階「市長公室」

表記表彰式が実施された。本会からは功労表彰として三宅正純氏と妹尾博文氏が、永年表彰として藤範恭弘氏が表彰の栄に浴され、三宅氏と藤範氏が表彰式に出席し、瓜生賢副会長が会長代理として参列した。

表彰式では松井一寛広島市長から直接表彰状と盾が授与され、三宅氏と藤範氏がそれぞれ「今後もこの表彰を糧に子どもたちの健康のために頑張っていきたい」と感想を述べた。

この度の表彰を本会としても心よりお慶び申し上げる次第である。



出席した藤範恭弘氏と三宅正純氏

「歯・口の外傷マニュアル」及び 「ティースキーパー『ネオ』」の寄贈における感謝状贈呈式

日時：11月29日(月)午後6時

場所：中区役所6階「教育委員室」

一般社団法人広島市歯科医師会は、学校歯科保健への活用を目的に市立の幼稚園・中学校・高等学校・中等教育学校90校に対して「歯・口の外傷マニュアル」(日本学校歯科医会)を、さらに市立の小学校・特別支援学校を加えた233校に対して歯の保存液「ティースキーパー『ネオ』」を寄贈した。

それに対し糸山隆広島市教育長より熊谷宏本会会長に感謝状が贈られた。

この感謝状贈呈式には、糸山隆広島市教育長、本会より熊谷宏会長、瓜生賢副会長、能美和基専務理事、若林大輔理事、藤田友昭理事、石田一輝理事、水内裕之理事が出席した。

参考：日本学校歯科医会 HP→学校歯科医・関係者→教材・資料→教育資料・素材→学校歯科保健指導資料→歯・口の外傷マニュアル

https://www.nichigakushi.or.jp/dentist/material/pdf/gaisyo_manual.pdf



(左) 寄贈品目録手交の様子 (右) 贈呈式に出席した役員と糸山隆広島市教育長

支部だより

中区支部

竹屋脳活性化のつどい～お口の健康教室～

日時：10月29日(金)午後1時

場所：竹屋公民館2階「会議室」

中区国泰寺地域包括支援センターの主催により、地域住民を対象に標記つどいが行われ15名が参加した。同つどいは毎年行われていたが、昨年は新型コロナウイルス感染症流行の影響で中止となり、約2年ぶりの開催となった。

小松大造氏が「お口の健康教室」の演題で講演を行った。

講演では新しい生活習慣を強られる事により社会性、運動、栄養、口腔機能に悪影響が及ぼされ、フレイルに移行しやすく、このような時だからこそマスク、手洗いに加え口腔ケアが重要であると説明を行った。続いて口腔機能チェックと題し、参加者にペコぱんだを配布し実際に自らの舌圧を体験してもらった。また、広島市介護予防・日常生活支援総合事業の歯科診療所で実施する短期集中通所口腔ケアサービスについても周知を行った。参加者からは口腔ケアに関する多くの質問が寄せられ、関心の高さがう

かがわれた。

本支部は今後も地域からの依頼に積極的に対応し、地域に根差した歯科保健活動を行っていく予定である。



講演会の様子

第15回 吉島圏域多職種連携会議

日時：11月8日(月)午後7時

場所：オンライン開催 (Zoom) (大手町平和ビル)

Zoomを用いたオンラインで標記の会が開催された。

今回の会議は新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、介護支援事業所、入院病棟での取り組み、またこれから起こりうるとされる感染の第6波への課題などを示していくものだった。

まず、増本孝宣土谷居宅介護支援事業所光南管理者が「事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続について」の演題で講演がされた。概要は本年5月に同事業所の職員が感染経路不明で、コロナウイルスに感染し、業務に支障が生じた事例の報告であった。

続いて、入院病棟におけるコロナウイルス感染の関連事例として、高山貴文土谷総合病院看護師から入院患者、それに関わる職員のコロナ感染が明らかになった時にどのように対応したか、福原美輪子吉島病院看護師長からは、実際にコロナ感染の入院患者を受け入れて、どのように対処してきたか、またそれに関わった職員が何に気を付けた

かなど様々な事例が説明され、非常に興味深かった。

最後に、「とある居宅介護支援事業所のリモートワーク事情」という演題で、岡崎貴光吉島地域包括支援センター長より同センターの取り組みが発表された。コロナ禍の状況において、リモートワークの作業、そして今後の留意点と課題が示されたのであった。

現在(11月中旬時点)、全国的にコロナ感染状況は著しく減少し、いつもの日常が戻りつつあるが、欧州、中国等の感染拡大状況を鑑みれば、日本はいつコロナ感染の第6波が来ても不思議ではない環境におかれている。

以上のことを踏まえた上で、新型コロナウイルス感染の対策を考えていく必要性を痛感した次第であった。

なおこの会議には、会場には小松大造氏が出席、オンラインでは波田佳範支部長、香川次郎副支部長、加藤千季氏、辰本将哉氏、中村衛氏、前田羊一氏、森田薫氏、若林大輔氏が出席した。

令和3年度 中区支部 第2回 役員会

日時：11月15日(月)午後8時30分

場所：オンライン開催 (Zoom)

Zoomを用いたオンラインで標記の会が開催された。

始めに報告事項として、支部長より令和2年7月から現在に至るまでの6名の新入会員(吉岡英将氏、細川由紀子氏、鎌田浩一氏、有田竜二氏、延本全彦氏、柄慎太郎氏)の紹介があった。

協議事項において、主だったところで、①昨今、新型コロナウイルスの新規感染者数は著しく減少しつつあるも

の、第6波の到来を考えた上で、どのように支部運営を行っていくのか②12月30日、31日の年末救急当番医選定をどのようにしていくのか等が協議され、出席役員から様々な意見が飛び交った。

なおこの会議には、波田佳範支部長、香川次郎副支部長、有田一喜氏、尾山奈々子氏、橋本佳子氏、花木清隆氏、平田誠氏がオンラインで出席した。



Zoomの様子

東区支部

救急蘇生講習会

日時：11月12日(金)午後7時

場所：JR 広島病院 3階「大会議室」

毎年恒例の標記の会が、岡本雄三広島市医師会常任理事
広島市東区医師会災害・救急医療委員会委員 JR 広島病院
診療部長による司会進行にて開催され、26名の二葉圏域
の医師・歯科医師・薬剤師が参加した。

「一次救命処置(BLS)一楽しく学びましょう～事業
場における救急蘇生～」と題し、寺川宏樹広島市東区医師
会災害・救急医療委員会委員 JR 広島病院循環器内科主任
部長により心肺蘇生(CPR)の説明があった。昨年に引き続
き感染予防の観点から、心肺蘇生訓練用人形と AED を使
用しての BLS、救急蘇生の実習ではなくデモ見学となっ
たため、受講者全員で声に出し手順を復唱し習得した。

いざ、目の前で急変した人に遭遇した時を想像すると、
周りに指示を出しながら適切に CPR を行う自信が持てな
かったり、近寄る勇気もなく傍観者になってしまうかもしれ
ない。有効な心肺蘇生や除細動が早急に行われなかった
場合、1分除細動が遅れる毎に生存退院率は10%低下す
ることから、救急車が到着するまでにかかる平均10分間
の一次救命は非常に大切であることが改めてわかった。衣
服を全て脱がすことなくパッドを装着することもできる

ため、女性に対してもためらわず使用してほしいとの説明
があった。新型コロナウイルス感染疑いの場合の要点とし
ては、マスクや手袋等最低限の着用とともに(感染者では
フル PPE で)、患者さんにマスクをつけたままもしくは口
をタオルなどで覆う、換気用のマスクを使用する場合には
マスクを両手で固定する人と二人で CPR を行うなどの説
明があった。

来年こそ実習ができることを祈念して閉会となった。東
区支部から宮村健一支部長と前島真紀子副支部長の2名
が参加した。



講習会の様子

南区支部

令和3年 南区支部会

日時：11月5日(金)午後7時30分

場所：広島県歯科医師会館 5階「501・502」

小笠原健南区副支部長司会進行の下19名の参加を得て
令和3年度初めての支部会が開催された。

河原利哉南区支部長の挨拶の後、内田雄士南区副支部長
より新役員の報告、新入会員3名の報告と挨拶、広島県歯
科医師会代議員の報告があった。その後古谷知之理事(前
南区支部長)より本日の審議題である南区支部規約の改定

の経緯と支部規約の改正点の説明があり、参加して頂いた
諸先輩や新しい先生方の貴重なご意見を頂き、支部規約の
審議後、参加者全員に可決承認され令和3年11月11日
より施行されることとなった。

最後に内田副支部長の閉会の辞により閉会した。

〈新役員紹介〉

[監事]玉川博氏

[支部長]河原利哉氏

[副支部長]内田雄士氏、

[副支部長]小笠原健氏

[理事]古谷知之氏 [理事]橋本直典氏、[理事]伊達弘恵氏

〈新入会員紹介〉 3名

芥川桂一氏、岡崎文彦氏、土江雄治朗氏



支部会の様子

西区支部

己斐・己斐上地域包括支援センター主催 「ホップステップ！健康寿命アップ講座」

日時：10月15日(金)午後1時30分

場所：己斐上公民館

標記の講座が己斐・己斐上地域包括支援センター主催で開催された。本講座は口腔編(歯科医師)、運動編(理学療法士)、栄養編(管理栄養士)の三部で構成されており、第1回となる今回は、松村英朗地域歯科保健部委員が「お口の健康と身体の健康について」と題して、地域住民19名に対して講演を行った。なお、当講座は新型コロナ対策として参加者全員のマスク着用や、マスクを外した状態での実習の中止等、十分な感染対策のもと開催された。

講演では現在の8020運動の達成状況から、今後の健康寿命の延伸を目指すための口腔ケア(セルフケア、プロフェッショナルケアおよび機能的ケア)の重要性について説明した。また、歯の喪失原因1位が歯周病であること、歯周病を放置すると全身疾患へ影響を及ぼすことを示し、歯周病の早期発見・早期治療の啓蒙を行った。さらに、口腔

環境の悪化が誤嚥性肺炎やオーラルフレイルを引き起こすことを示し、それらを予防するために、舌や口輪筋を日常的に鍛えることが重要であることを説明した。また、摂食・嚥下機能の改善を目的とした、お口の体操やペコぱんだについて紹介を行ったが、ペコぱんだについては使用方法を説明するにとどめ、反復唾液嚥下テスト(RSST)のみ体験してもらった。最後に、短期集中通所口腔ケアサービスの紹介をして講演を終了した。

講演後には参加者からの活発な質問があり、関心の高さがうかがえた。今後も地域住民との関わりをもち、地域に根差した歯科保健活動を行っていく所存である。



講演をする松村英朗地域歯科保健部委員

広島市井口台・井口地域包括支援センター主催「いきいき健口長寿講座」

日時：10月28日(木)午後1時30分

場所：鈴が峰会館

標記の講座が、広島市井口台・井口地域包括支援センター主催で開催され、豊田育星地域歯科保健部委員が、「コロナ禍における口腔ケアについて」と題して地域の高齢者13名に対して講演を行った。

講演では、まず新型コロナウイルス感染症の発症機序の説明後、口腔ケアがいかに新型コロナウイルス感染症の発症や重症化リスクを軽減させるかのデータを示し、その重要性についての説明があった。また、口腔外バキュームなどの歯科医院で行っている様々な感染予防対策を紹介し、歯科を受診することの安全性を強調した。

次に、新型コロナ感染予防のためのマスク生活によるオーラルフレイルの進行について説明し、その予防法、改善法について解説した。しっかり咬める歯の数を確保すること、舌圧のトレーニングが重要であることを伝え、たとえすでに残存歯が少なくても義歯やブリッジで歯の欠損を補うことで良好な結果を得ることや舌の体操やペコぱんだを用いたトレーニング方法について解説した。

講演には、口腔ケアをすることが新型コロナ感染予防につながることでよく理解できた、舌圧が弱いことを自覚したのでトレーニングをしていきたい等の意見があり、参加者の口腔に対する意識が向上したことを感じた。地域歯科保健部ではこのような活動を通じて、これからも地域住民に口腔ケアの重要性を啓発していく所存である。



講演をする豊田育星地域歯科保健部委員

中広圏域 医療と介護の多職種連携研修会

日時：11月19日(金)午後6時20分

場所：オンライン開催 (Zoom)

中広地域包括支援センターの主催で標記の会がオンラインで開催された。今回の研修会はコロナ禍の感染対策がテーマで、最初に後藤奈積西保健センター保健師が「新型コロナウイルス感染症の感染対策について」と題し講演があった。講演は陽性判明した患者の状態や療養中、療養後の生活、患者家族の生活を理解するとともに自宅療養者や家族の自宅療養期間中の支援を考えること、また事業所として適切な感染対策を理解するために把握しておくべき現状と感染対策の紹介であった。

講演後、吉村翔吾西社会福祉協議会生活支援コーディネーターより「コロナ禍における地域の動き」と題して各地域での取り組みが紹介された。

その後グループに分かれて個々の医院や事業所の感染対策への取り組みや問題点、悩みなどを話し合い有意義なグループワークとなった。西区支部から田中信吾支部長、安達雄一氏が参加した。

各部からの報告

総務部

広島市医療安全推進協議会より ーこんな医療トラブルが起こっていますー

広島市医療安全支援センターに寄せられる苦情・相談の現状について具体的相事例を報告します。なお、個人情報保護の観点から、相談者の個人特定が行われないように、相談内容に関しては、若干の修正を加えております。

事例1：治療法について

う蝕治療をしているが、抜歯しかなく、ブリッジかインプラントのどちらにするか決めてくれと言われた。どちらのメリットデメリットも説明を受けたが、決められない。どうしたらいいか。

(センターの対応)

治療法は相談者が決めることだが、詳しい話が歯科医師会で聞けるかもしれないと言うと、希望されたので連絡先を伝えた。

(コメント)

患者さんには、メリット、デメリット以外にも、金額、治療期間など、様々な情報を提示して、選択してもらいましょう。

事例2：智歯の抜歯について

家族が、智歯の抜歯で受診したが、2時間かけても抜けないまま帰宅した。鎮痛薬も効かず、翌朝にようやく止血した。暫く様子を見ようと言われたそうだが、このまま様子を見ていいのか。

(センターの対応)

センターで様子を見ていいかどうかは分からないため、歯科医師会の情報を伝えた。

(コメント)

難抜歯を行う場合、事前に患者さんに難抜歯である旨、一度では抜歯できない可能性があること、またその場合の対処法等を説明しておきましょう。

～総務部より連絡～

諸般の事情により、今期から保険なんでも相談は行わないこととなりました。

保険相談に関しては、広島県歯科医師会保険部にお問い合わせいただきますようお願いいたします。

記事の詳細確認は自己責任にてリンク先でお願いします。

最新記事はホームページにてご覧ください。各記事のQRコードをスマートフォン等で読み取っていただければ、該当記事のページにアクセスできます。(リンク切れはご容赦願います。)

新型コロナウイルスに関する最新の情報はこちらをご参照ください

内閣官房 新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp>



厚生労働省 新型コロナ感染症について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html



広島県 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/>



広島市 新型コロナウイルス感染症に関する情報

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



今月の知っておきたいこと

▼令和元年の国民医療費は2.3%増の44兆3895億円

Web 医療と介護 (2021年11月19日)

<https://info.shaho.co.jp/iryou/trend/202111/13408>

令和元年7月21日に行われた参院選(比例代表)において歯科界支援の比嘉奈津美(ひがなつみ)氏は急な選挙対応の中にあつて善戦するも次点に泣いたが、このほど比例代表選出議員に欠員が生じ繰り上げ当選が決定、10月21日に当選証書が付与された。

これは、山口選挙区選出参院議員の林 芳正氏が10月31日投票の衆院選にくら替え立候補し、同選挙区の補欠選挙に当たって参院比例代表選出議員であった北村経夫氏が立候補したことによる、欠員補充措置で繰り上げ当選したものである。

なお、比嘉氏は沖縄県在住で福岡歯科大学卒業、衆議院議員を2期務めた。

参考

2019年度国民医療費は44兆3895億円、都道府県別1人当たり医療費は依然として高知県が最高—厚労省

GemMed (2021年11月16日)

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=44190%20%20target=>

2019年度の国民医療費は、前年度に比べて9946億円・2.3%増加し44兆3895億円となった。

近年、「高齢者における医療費の適正化」が進められ、その効果も出ていたが、2019年度には消失している。



都道府県別に1人当たり医療費を見ると、依然として高知県が最高で、最低の千葉県に比べて1.5倍となっている。ベッド数の適正化などを柱とする対策を早急に講じる必要性が高い。

厚生労働省が11月9日に公表した2019年度の「国民医療費の概況」からこうした状況が明らかになりました(厚労省のサイトは[こちら](#)) (前年度(2018年度)国民医療費の記事は[こちら](#))

厚労省(令和元(2019)年度 国民医療費の概況)

<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-iryohi/19/dl/data.pdf>

▼全世代型社会保障構築会議が初会合

Web 医療と介護 (2021年11月16日)

<https://info.shaho.co.jp/iryou/trend/202111/13390>

政府は11月9日、全世代型社会保障構築会議・公的価格評価検討委員会合同会議の初会合を開催した。

全世代型社会保障構築会議は、全世代型社会保障検討会議の後継組織で、給付と負担の問題を含む社会保障の幅広いテーマが議論の対象となるが、当面の課題は、看護・介護・保育・幼稚園の職員の処遇改善とし、年内に中間報告をまとめるとの方針が示された。



ニュースピックアップ

▼ファイザー製3回目接種「有効性95.6%」…臨床試験、デルタ株にも「効果あり」

yomiDr. 2021年10月22日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211022-OYT1T50052/?catname=news-kaisetsu_news



米製薬大手ファイザーは21日、同社製新型コロナウイルスワクチンの追加接種の効果を検査する臨床試験で、発症を防ぐ有効性が95.6%に上ったと発表した。インド由来の変異ウイルス「デルタ株」に効果があるとの見方も示した。

◎3回目の接種の有効性が判明し、接種計画が進んで

います。経口薬の承認の予定もあり、新型コロナウイルス感染症の新しいステージに進みそうです。

▼米メルクのコロナ経口薬「モルヌピラビル」、英が飲み薬では世界初の承認…日本の審査にも影響

yomiDr. 2021年11月5日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211104-OYT1T50168/?catname=news-kaisetsu_news

英国の医薬品規制当局は4日、新型コロナウイルス感染症を治療する経口薬（飲み薬）「モルヌピラビル」の使用を承認した。新型コロナ向けに開発された飲み薬の承認は世界初という。

◎岸田首相は就任時の所信表明演説で、「経口治療薬の年内実用化を目指す」と述べ、政府として必要な量の確保に取り組むとしています。日本でも近く、メルク日本法人が厚生労働省に承認申請を行う見込みで、英国での承認が日本での審査にも影響しそうです。



▼ワクチン臨床試験 新指針 数万人規模の試験なしでも有効性判断

NHK NEWS WEB 2021年11月7日

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20211106/k10013336881000.html?utm_int=news-new_contents_list-items_123

国内で新型コロナウイルスのワクチンを開発する際の臨床試験について、医薬品の審査を行う国の機関が新たな考え方をまとめ、数万人規模の臨床試験で発症予防の効果を調べなくても、すでに実用化されているワクチンと抗体のデータを比べることで有効性を判断できるなどしました。

◎開発が待たれている国産ワクチンですが、中々実用化には至らないようです。データの比較で判断するという新指針についても賛否両論あるでしょうが、少しでも開発の迅速化の助けになればと考えます。



▼ワクチンに関するデマ、「見聞きしたことがある」55.5%…ネットの信頼度「49.2点」

yomiDr. 2021年11月13日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211113-OYT1T50157/?catname=news-kaisetsu_news

公益財団法人「新聞通信調査会」は、メディアに関する全国世論調査の結果を公表した。新型コロナウイルスのワクチンに関する不確かな情報や、デマと思われる情報を「見聞きしたことがある」は、55.5%に上った。各メディアの情報の信頼度を100点満点で聞くと、1位はNHKテレビの69.0点で、2位は新聞の67.7点。インターネットは49.2点だった。

◎インターネットの普及により、情報が早く得られることはありがたいですが、その中には真偽のわからないものもたくさんあります。自分が何を信じて何を発信するのか、改めて考えていかなければいけませんね。



▼島根県の10月の感染、6割以上がブレークスルー感染

山陰中央新報 2021年11月9日



<https://www.sanin-chuo.co.jp/articles/-/119545>

島根県が9日、10月の新型コロナウイルス感染者（101人）のうち、ワクチン2回接種後に感染する「ブレークスルー感染」の割合が64.3%に上ったと明らかにした。県はワクチンを先行接種した高齢者世代を中心に抗体量が減少し、高齢者福祉施設でのクラスター（感染者集団）の発生につながったとみている。

◎感染者の年代別では80歳以上が40.6%を占め、ブレークスルー感染者の平均年齢も77.9歳で、9月の54.3歳から大幅に上がったそうです。ブレークスルー感染者は無症状や軽症が多い傾向のようですが、感染拡大防止に日々努めていかななくてははいけませんね。

▼イベント人数の上限撤廃へ、ワクチン・検査証明活用で定員100%認める

yomiDr. 2021年11月12日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211112-OYT1T50028/?catname=news-kaisetsu_news

新型コロナウイルス対策を巡る政府の行動制限緩和策案の全容が11日、明らかになった。大規模イベントは主催者による感染防止安全計画の策定を条件に、参加人数の上限を撤廃する。緊急事態宣言が再発令されても、ワクチン・検査パッケージを活用すれば定員100%まで認める。

◎政府は、感染が抑制されている現在の状況に適用する制限を緩和するとともに、今後感染が再拡大してもコロナ対策と経済活動を両立させることを狙っているようです。



▼顎骨の再生治療へ独自改良人工骨 岡山大院・窪木教授らが臨床試験

山陽新聞 2021年11月8日

<https://www.sanyonews.jp/article/1193845/>

岡山大大学院医歯薬学総合研究科の窪木拓男教授＝インプラント再生補綴（ほてつ）学＝らのグループは、専門とする歯科インプラント治療と、その土台となる顎の骨を再生させる治療の臨床試験（治験）を進めている。独自に改良した人工骨を活用。交通事故などで顎骨を失ったり、先天的に骨が少なかったりする患者の治療の選択肢を広げるとともに、QOL（生活の質）向上につなげる。

◎顎骨の骨欠損が大きい患者に対する骨再生の方法として、既存の人工骨に骨を形成する特殊なタンパク質の水溶液を染みこませた人工骨を開発し、強い再生能力をもつことなどを確認したそうです。今後の経過に注目したいと思います。



▼脱臼治療の局所麻酔で昏睡状態、6200万円賠償命令 医院は昨年解散

京都新聞 2021年11月9日

<https://nordot.app/830751729115791360?c=39546741839462401>

脱臼治療の局所麻酔によって妻が昏睡（こんすい）状態になったとして、長岡京市の男性が、同市内の整形外科医院の男性医師と運営法人に対し約8500万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が9日、京都地裁であった。長



谷部幸弥裁判長は医院側の過失を認め、約 6200 万円の支払いを命じた。

◎患者は脱臼と診断され、局所麻酔を投与されて治療したが、1 時間もたずに容体が悪化して心肺停止となり転院搬送された。その後、低酸素脳症で意識を回復することなく 2 年後に肝臓がんで亡くなったそうです。局所麻酔を扱う場合は注意が必要かと思われる事例です。

▼歯の温存より積極的な抜歯が顎骨壊死の予防に

yomiDr. 2021 年 11 月 10 日

<https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211029-OYTET50004/?catname=medical-tribune>

長崎大学歯学部口腔保健学准教授の五月女さき子氏らの研究グループは、ビスホスホネート (BP) 製剤や抗 RANKL モノクローナル抗体デノスマブなどの骨修飾薬 (BMA) を投与されているがん患者を対象に、薬物関連顎骨壊死 (MRONJ) 発症の危険因子とされる抜歯と MRONJ との関連を検討。その結果、抜歯を避けることが一般的な MRONJ の予防治療において、むしろ抜歯を避けると顎骨壊死の発症率を有意に上昇させる、と Sci Rep (2021;11:17226) に発表した。

◎この発表は驚きですね。従来より保存治療に重きを置いてきた私たちですが、BP 製剤や BMA を投与されているがん患者には早期の抜歯が有効とのこと。

▼「手足口病」季節はずれの流行の兆し…専門家「夏の病気だと思い感染に気づかないケースも」

yomiDr. 2021 年 11 月 13 日

https://yomidr.yomiuri.co.jp/article/20211113-OYT1T50151/?catname=news-kaisetsu_news

乳幼児を中心に手足や口の中に発疹ができる感染症「手足口病」が、関西 3 府県で流行の兆しを見せている。7 日までの 1 週間で 1 医療機関あたりの患者数が大阪府は 4.27 人で前週の 3.51 人を上回り、警報レベルとなる 5 人に近づいている。近年は隔年で流行を繰り返し、7 月下旬頃にピークを迎えることが多いが、専門家は季節は

ずれの流行の恐れがあるとして注意を呼びかけている。

◎口腔内に症状が出ることもあるため、歯科医院で手足口病の患者さんを診ることがあるかもしれません。夏の病気だと思わず、気をつけましょう。

▼線虫で膵臓がん疑い調査 ベンチャー企業、来年から

THE SANKEI NEWS 2021 年 11 月 16 日

<https://www.sankei.com/article/20211116-WDVCGLG7JMTHLFPB2X53GBRQM/>

がんのにおいに反応する線虫を利用して、膵臓がんの疑いがあるかどうかを調べる手法を開発し、来年から有料でサービスを始めると東京のベンチャー企業「HIROTSU バイオサイエンス」(広津崇亮社長) が 16 日、発表した。遺伝子組み換え技術を応用して、発見が難しい早期膵臓がんも検出可能としている。

◎線虫はにおいに敏感で、健康な人の尿には近づかず離れるが、がん患者の尿には近づく特性が知られています。検出は①普通の線虫で「がんの疑い」を調べる②遺伝子組み換えで膵臓がん特有のにおいを識別できなくなった線虫で再び調べるという順で、同社の実験では膵臓がん患者 22 人の尿は全て正しく判定されました。今後に要注目ですね。

▼ウトウト居眠り→体が「ビクッ」となる現象、正体は？ 病気の可能性も？

大人んサー 2021 年 11 月 11 日

<https://otonanswer.jp/post/99826/>

電車の座席で居眠りをしているとき、体が突然、「ビクッ」と動いて目が覚めた経験はないでしょうか。人前だと少し恥ずかしい思いをしますが、この「ビクッ」となる現象を自分でコントロールするのは難しいため、「いつも不思議に思っていた」「どうしてビクッと動くの?」「起こりやすい人はいるのかな」「病気の可能性はない?」など疑問を持つ人もいます。

◎誰もが経験したことがある「ビクッ」ですが、医学的には入眠時ミオクローヌスというそうです。あまりに頻発する場合は周期性四肢運動障害という病気の可能性もあるので、神経内科を受診しましょう。

広報部より連載記事をぼちぼちと発信いたします。気長にお付き合いのほどを。

誰もが納得！ I L♥ve 広島弁じゃけえ。

～第 26 回～ ハラガフトルってなんだ??

富士見太郎さんは 60 歳代の、生まれも育ちも広島市内の生粋の広島弁話者ですが、大学は神奈川県にある関東歯科大学に進学しました。今回はそんな富士見さんが 40 数年前の学生時代に経験したエピソードを紹介します。

中学から陸上競技、中でも長距離走を専門とした富士見さんは現在もスマートですが、大学生の頃は 170cm の身長に対して体重 50kg と、長距離走選手らしい体格でした。60 を過ぎた現在でこそ年齢なりに少食になりましたが、関東歯科大学陸上部長距離部門に籍を置いていた当時は食べても食べても体重が増えることはありませんでした。特に部活後の長距離部門の仲間との夕食は 1～2 年生が持ち回りで食事処を決めるのですが、そんな食べ歩きも楽しくて仕方がないのです。

今日が 1 年生の富士見さんの初めての当番日です。熟考した結果、格安で焼肉が食べられる焼肉養老を選びました。店内のコンロはもちろん、机、壁、床に至るまで老舗焼肉店特有の油汚れでネチャネチャ、ベトベトですが、とにかく肉は安くて美味い上にご飯はおかわりし放題なので部員一同、これでもかと飯をかき込みます。上級生の Aさんは「おい富士見、ええ店に決めたのう」と最大限の褒め言葉を掛けます。富士見さんも気を良くして、さらにご飯にタレをかけてをかき込み、こう言いました。「あ～、ハラフトッタ～！」と。コンロを囲む一同顔を見合わせて「富士見くんは全然太ってないぞ。ましてや腹回りは細い方じゃない？」…。



広島県内をはじめとして近隣の山口県内、愛媛県内でも「満腹、腹がいっぱい」の意味で日常的に「腹が太る」と表現します。「腹」も「太る」も標準語なのでどこでも通じると思われがちですが、他の地方ではまず通じませんので、注意が必要です。神奈川県に進学して以来、方言には注意していた富士見さんも、この瞬間まで広島弁との認識はありませんでした。

因みに同じ意味で、秋田青森では「腹がつよい」と、まるで腹筋を鍛えているような表現をし、富山では「腹うい」、香川徳島では「腹がおきる」、関西では「腹が大きい」と表現します。このうち「腹うい」は「憂い」という「つらい」を意味する古語から来ています。「腹が大きい」は妊娠した女性に使うのが普通ですが、関西では満腹を意味するんですね。反対に妊婦の腹はどう表現するのでしょうか？

体重が増える意味では「太る」の他に「肥える」も使いますね。「天高く馬肥ゆる秋」という故事成語があるので、全国で「肥える」は使われているのかと思いきや、東日本の特に若い世代には通じないこともあるようです。これは同音異義語、「超える」「越える」が邪魔をしていると推察する筆者です。

摂食嚥下、栄養摂取に関わる広島弁はマスターして、学生時代の富士見さんのような格安焼肉店ではなく、高級焼肉店で「肥える」ことのないように、「腹八分目」で楽しみましょう。

※作中の焼肉養老は架空の焼肉店で、鷹野橋にかつて存在した同名店舗とは関係ありません。

※参考文献 「広島県方言の研究」広島県師範学校郷土研究室編

※国語学的な知識を持たない一介の歯科医の見解であり、間違っているかもしれません(笑)。

「皆さん知ってますか？」～広報部のみみより情報～

先日 11 月 6 日土曜日夕方から広島県歯科医師会館裏のシリブカ公園から広島東照宮にかけて多くの人が集まってある催物が開催されていました。(私は知らなかったので知人から教えてもらいました)

ホームページで調べてみると「和奏光夜」というイベントで、これは二葉の里にある7つの神社仏閣を舞台に、「光と音で奏でる古き良きものと『今』が混ざり合う一日を」をコンセプトに2017年より始まったようです。昨年(3回目)はコロナの影響で開催を断念されたようです。4回目の開催となった今年は、広島東照宮を舞台にライトアップおよびプロジェクションマッピング、桜が丘高校和太鼓部による光と音の饗宴でコロナ禍における『希望の光』となるような光景が生まれた、ということです。(写真参照)

これを書いている今、聞くと先週の週末も「江戸祭り」が広島東照宮で開催され、賑わいがあつたようでした。

11月に入り IKEA が開業予定地を住友不動産に売却していたというニュースが入ったり、元カーブ監督の古葉竹識さんがお亡くなりになったり、現役選手の鈴木誠也選手がポストिंग制度を用いてアメリカ大リーグに挑戦、、などなど心がざわつくニュースの中で、コロナ禍が少し落ち着いている昨今「和奏光夜」はなにかしら心がホッとするようなイベントに思えました。

来年開催があればぜひみてみたいものです。

【和奏光夜 2021】

☆公式ホームページ

<https://wasokoya2021.wixsite.com/website>

☆Instagram

<https://www.instagram.com/hiroshimalightup/?hl=ja>

☆Facebook

<https://www.facebook.com/wasokoya2017>





FM ラジオ「FM ちゅーピー76.6MHz」サイマルラジオ

「お口の健康広場デンタルパーク」 広島すまいるパフェ 第1・3水曜日午後0時50分から

12月1日放送分

「永久歯が生える時期の注意点」

広島市歯科医師会 白神葉子氏

永久歯が生えてくると、いよいよ大人の歯並びへの第一歩となります。乳歯と永久歯が混在する時期に、周りの大人、そして子ども自身も気を付けることで、健全な永久歯列への交換を促すことができます。今週は広島市歯科医師会の歯科医師、白神(しらが)葉子さんが、永久歯が生える時期の虫歯予防や歯並び、食生活の注意点を話します。

12月15日放送分

「心を強くする食事」

広島市歯科医師会 豊田眞仁氏

新型コロナウイルス感染症の流行により、世の中の不安感が増し、うつ病や自殺者数が増えるなど、心への悪影響が報道されるようになりました。その対策として食事の内容を変えることで、心を強くできると考えられています。今回は広島市歯科医師会の歯科医師、豊田眞仁(まさひと)さんが「コロナ禍に負けない心を強くする食事」と題して話します。



【公式】広島市歯科医師会広報 チャンネル

ぜひご視聴ください

チャンネル登録をお願いします

10月6日放送分

「歯周病と糖尿病の関係」

広島市歯科医師会 江盛顕司氏

<https://youtu.be/5Fg6AknxYBo>



10月20日放送分

「いつまでも自分の歯で食べる」

広島市歯科医師会 小早川尚史氏

https://youtu.be/Aq91VBjBh_g



感染対策の基本はしっかりと！

広島市歯科医師会作成「不安な？歯医者」

<https://youtu.be/xnq0YK1MPao>



広島市歯科医師会作成 アニメーション「ハハ姉妹」完成しました

いつもゆかいなハハ姉妹が日常生活の中で分かりやすくお口にまつわるちょっと役に立つ話を色々教えてください♪

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLyf4zcYp6dvghisn8nQlsotsZC6ZFFs3q>



会員ひろば

新入会員紹介



楠橋由規

広島市歯科医師会会員の皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、広島市歯科医師会に入会させていただきました楠橋由規(くすばしゆうき)と申します。

私は広島大学を卒業後、1年間熊本県に移り伊東歯科口腔病院で卒後臨床研修を修了した後、広島市内の複数の歯科医院での勤務を経て2021年10月1日に広島市西区井口にて「井口にじいる歯科」を開業させて頂く運びとなりました。

母校である広島大学や、臨床研修先、勤務先の先生方には多くのことをご指導いただき、この場をお借りしまして厚く感謝申し上げます。

また入会に際しましても、多くの先生方にご助言をいただき誠にありがとうございます。

まだ未熟者でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、何卒よろしく願いいたします。

微力ながら地域医療に貢献できるよう精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

職員挨拶

退任挨拶



竹内直美

この度、一身上の都合により令和3年12月11日をもちまして、広島市歯科医師会を退職することになりました。

短い期間でしたが、在職中は、役員の先生方、事務局の皆様にご大変お世話になりまして、恩返しする日々もないまま退職に至ったこと、大変申し訳なく思っています。

末筆ではございますが、広島市歯科医師会の今後のご発展、先生方のご活躍をお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大が始まって2年になるうとしています。

我が国における感染状況は落ち着きをみせている中、これまで中止や自粛してきた飲食を伴う懇親や福利厚生事業などを、いつどの様に再開するかについての理事会協議を続けています。

クリスマスパーティーは、従前の形式にて行うことはできないと判断し、だより「クリスマス特大号」による紙面パーティーとすることはご案内したとおりです。

さて、今年の年初は中止を余儀なくされた新年互礼会ですが、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための広島県の対処方針」や内閣官房が発表している「飲食の場面におけるコロナ感染症対策のお知らせ」などの原則のもと、令和4年は対面形式で開催することとしました。

これまで行われてきた本会の新年互礼会は、国が定義している「感染リスクが高まる5つの場面」のうち、①飲酒を伴う懇親会等 ②大人数や長時間に及ぶ飲食 ③マスクなしでの会話 がそれに相当する可能性があります。また、内閣官房が発表する「飲食の場面におけるコロナ感染症対策のお知らせ」において飲食店を選ぶ際のポイントとして、①座席の間隔の確保 ②食事中以外のマスク着用の推奨 ③手指消毒の徹底 ④換気の徹底 が挙げられています。

そこで今回は、来賓は県歯会会長及び専務だけとし、政治家の先生方へのお声がけを自粛し、会員

だけで新年をお祝いすることとしました。座席の間隔も十分に取り換気にも配慮し、マスク会食形式で実施します。時間短縮の意味も含めて一昨年行ったような(書初め)派手なパフォーマンスも行いません。

また、飲酒を伴うことがリスクを高めることから、アルコールは鏡開きによる乾杯だけとし、その後はすべてノンアルコールドリンクのみとさせていただきます。さらに、食事は一人一つのお弁当形式を基本に、それ以外の料理(寿司、ローストビーフなど)も大皿でとる形式ではなく、一人一皿に小分けした形で提供させていただきます。

もちろん、今後感染の再拡大が起こるようでしたら直前であろうとも躊躇なく中止します。

会員の先生方は、コロナ禍の発生以来受診抑制への対応や感染対策に腐心され、身も心も疲弊されていることと思います。私は会長として少しでもお支えしたいとの思いから、だより号外の発刊や感染予防物資の配布など、できることを誠心誠意行ってきたつもりです。しかしながら、疲弊した会員の皆様の心を癒すためには、仲間である会員同士が相手の顔を直接みながら、会話(五感)を通じて心を寄せることも大切だと感じています。

人と人とのコミュニケーションには、言語を知覚で認識するバーバル(言語)コミュニケーションと、「身振り、手振り」などのボディランゲージと、「表情、声

会長コラム (第29回)

柔しく剛く

対面によるコミュニケーションで得られるもの
—会員同士が心を寄せあわせるために—

熊谷 宏

の調子」などから情報を得るノンバーバル(非言語)コミュニケーションとがあります。人が対面でも向き合えば、相手の感情やその場の空気感など、バーバル、ノンバーバルの両方を五感を通して感じることができます。

アルコールが無くともマスク越しの短い会話であっても、仲間同士が新しい年の初めに顔を合わせることで、Web等で得ることのできない五感を通じたコミュニケーションにつながると考えています。

我々はマスコミの報道や感情に左右されるのではなく、医療人としての社会的地位や職域組織としての社会的責任を理解した上で、医学的判断、また知識人としての客観的判断による意思決定が必要です。それらをすべて踏まえて、私は「今こそしっかりとした対策の上で、会員同士が心を寄せるタイミングである」と会長として判断したのです。

ご批判もあろうかと思いますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。

新型コロナウイルス感染症対策、本会のこれまでの取り組み

(2021年11月)

新型コロナウイルス感染症対策これまでの経緯(2021年11月1日～11月30日)

世界・日本での経過	2021年	広島市歯科医師会での対応
国内累計感染者数 1,722,824 人 世界累計感染者 246,594,191 人	11月1日	
米CDC諮問委員会 ファイザー製新型コロナワクチンの5歳から11歳への接種を推奨	11月2日	
厚生労働省 抗体カクテル療法“予防薬”として使用を了承	11月4日	松井一實市長の礼状受領
コロナ飲み薬で入院リスク 9割減 ファイザー臨床試験の中間結果発表	11月5日	
新型コロナ、1年3か月ぶりに死者ゼロ	11月7日	
“米入国”全ての国から入国する外国人に対してワクチン接種義務	11月8日	
米ファイザー、5～11歳向けワクチンを日本で承認申請 国内累計感染者数 1,724,391 人 世界累計感染者数 250,154,972 人	11月10日	
3回目接種“高齢者”来年2月に本格化へ	11月12日	
“3回目ワクチン”約412万回分自治体への配送開始	11月15日	
政府 ワクチン・検査パッケージ要綱案まとまる	11月16日	
厚生労働省 コロナワクチン健康被害126人救済認める	11月19日	
国内累計感染者数 1,726,191 人 世界累計感染者数 255,324,963 人	11月20日	
全国知事会、コロナ新方針に“国が基準を”レベル分類や追加接種で	11月21日	
全国の感染者数、今年最少の50人 京都や兵庫など35府県でゼロ	11月22日	
EU ブースター接種“全成人に急ぐべき”欧州の感染拡大で	11月24日	
南アフリカでコロナ変異株 感染者が指数関数的に増加	11月25日	
南アの変異株は“オミクロン株”WHO懸念される変異株に指定	11月26日	
韓国の新規感染者4,000人超 死者は過去最多	11月27日	
首相“さらなる水際対策の強化を検討”オミクロン株に危機感	11月29日	
“オミクロン株”国内初の感染確認 ナミビアに滞在歴のある30代男性 国内累計感染者数 1,727,172 人 世界累計感染者数 260,867,011 人	11月30日	

集計元情報：Johns Hopkins 大学、厚生労働省、各自治体
※以前のものは前号参照

11月定例理事会報告

「部外報告」

- 10月28日 歯科医師国保組合理事会
11月2日 社会保険診療報酬支払基金再審査
11月4日 (県歯)会員サポート室会議
11月8日 令和3年度「8020」いい歯の表彰式
11月15日 第42回地域医療支援病院運営委員会
11月16日 広島県歯科保健文化賞表彰状授与式
11月17日 RCCラジオ「おひる一なプラス」出演
放送
11月18日 広島県国保連合会歯科再審査部会
11月18-23日 広島県国保連合会歯科審査部会
11月20-21日 神奈川県歯科医師会DX視察
11月22日 広島テレビ「テレビ派」取材
(放送日12月8日(水))
11月23-28日 社会保険診療報酬支払基金審査
(28日合議)

「連盟関係」

- 10月28日 広島県知事選挙告示
〃 【Web】広島県知事選挙出陣式
(ゆざき事務所)
10月31日 衆議院議員総選挙投票開票日
〃 岸田文雄氏当選報告会
11月1日 【Web】ゆざき英彦候補を囲む四師会総
決起大会
11月14日 広島県知事選挙投開票日

「総務関係」

- 11月1日 第1回会史等編纂特別委員会
11月14日 【Web】三役会
11月18日 令和3年度学校歯科医協議会
11月22日 三役会
11月24日 定例理事会

「慶弔関係」

- 9月11日 西区支部 高橋秀樹先生
中国・四国地区歯科医師会連合会会長
表彰
11月12日 西区支部 佐久間光俊先生ご尊父様
ご逝去
11月25日 広島市保育園及び認定こども園保健功
労者表彰
中区支部 三宅正純先生
南区支部 妹尾博文先生
〃 広島市保育園及び認定こども園永年表彰
東区支部 藤範恭弘先生

「入会退会関係」

- 11月5日 西区支部 森永行雄先生
(会員資格喪失の為)退会

「県歯理事会関係」

- 11月4日 (県歯)理事会

(1) 総務部 (森本理事)

- 11月2日 休診レセプト点検
〃 社会保険診療報酬支払基金再審査
11月10日 定例委員会
11月11日 (県歯)保険部常任委員会
11月18日 令和3年度学校歯科医協議会
11月23-28日 社会保険診療報酬支払基金審査
(28日合議)
休日診療保険請求における留意事項に
ついて
R3.7-9 広島市医療安全支援センター相談概
要だより記事について

(2) 学術部 (花岡理事)

- 11月12日 定例委員会
11月18日 業者(富士フイルムビジネスイノーベ
ションジャパン)との打合せ

(3) 厚生部 (谷理事)

- 11月10日 新年互礼会打合せ
11月16日 定例委員会

(4) 地域歯科保健部

- 11月19日 定例委員会

<地域保健> (若林理事)

- 10月28日 中区介護認定審査会
11月4日 中区介護認定審査会
11月8日 令和3年度「8020」いい歯の表彰式
〃 吉島圏域多職種連携会議
11月10日 (県歯)地域保健部常任委員会
・おくちの健康展Web開催について
福祉対策協議会実績状況

<地域連携> (藤田理事)

- 11月15日 (県歯)第1回介護予防のための口腔機
能管理推進検討会議
・短期集中口腔ケアサービスに関する
アンケート調査について

<学校保健> (石田理事)

- 10月28日 【Web】令和3年度全国学校保健・安全
研究大会
10月29日 【Web】令和3年度全国学校保健・安全
研究大会
11月10日 学校嘱託歯科医への対応について
11月18日 令和3年度学校歯科医協議会

(5) 広報部 (水内理事)

- 11月2日 校正委員会(だより11月号)
11月15日 FMちゅーピー収録
11月18日 令和3年度学校歯科医協議会
11月19日 【Web会議】情報調査委員会
11月22日 校正委員会(太田川)

FMちゅーピー (新聞掲載)

12月 1日 「永久歯が生えてくると」
広島市歯科医師会 白神葉子氏

12月 15日 「コロナ禍に負けない心を強くする食事」
広島市歯科医師会 豊田眞仁氏

(6) 広島市歯科医師会ホームページについて

ホームページアクセス数
一般サイト 訪問者 1,313 (累計 191,145)
ページビュー 29,058 (累計 1,171,422)
会員サイト 訪問者 156 (累計 33,403)
ページビュー 636 (累計 237,447)
広報部 … Talking Heads<最新情報>
掲載件数 100件(10/21~11/20)
LINE公式アカウント 登録者数
11月19日 106名

(7) 特別委員会

11月 1日 第1回会史等編纂特別委員会

(8) 救急蘇生委員会

11月 1日 救急蘇生委員会救急ボックス薬品消耗品発注

(9) 各部事業計画について

(10) 歯科医療安全相談

「協議事項」

- (1) 入会について
現状報告
- (2) 令和4年新年互礼会について
協議継続審議
- (3) カープ観戦日程について
協議継続審議
- (4) 短期集中口腔ケアサービスに関するアンケート調査について
協議継続審議
- (5) ちゅーピー子ども新聞について
継続掲載、掲載紙面協議
- (6) 年賀状送付先について
確認継続審議
- (7) その他
ちゅーピー収録者(案)
各区支部長・副支部長

「その他」

特になし

会員の皆様へ

広島市歯科医師会だよりに関するご意見やお問い合わせは、各記事に担当部がある場合は、担当部の理事あてにお願いします。それ以外については、広島市歯科医師会事務局ないしは広報部担当理事水内裕之までお寄せ下さい。

広島市歯科医師会事務局 E-Mail: hirosshima@dentalpark.net
広報部担当理事 水内裕之 E-Mail: mizuuchi.shika@gmail.com

広島市歯科医師会ホームページ

<http://www.hirosshima-da.com/>

会員専用ページ

ユーザー名 : Futaba

本会PASS : 2622662

協議会PASS : welfare

投稿記事締め切りは毎月25日です。

ご協力をお願いします。

事務局までメール(上記)投稿

お願いします。

広島市歯科医師会の住所及び連絡先

〒732-0057

広島市東区二葉の里3丁目2番4号

広島市歯科医師会 TEL : 082-262-2662

FAX : 082-262-2668

休日診療専用電話 TEL : 082-262-2672



広島市歯科医師会は会員の皆様に対する情報提供の一助として会員専用のLINE 公式アカウント(非公開)を開設しました。



LINE 公式アカウント 友達募集中！

このアカウントは非公開のものです。
広島市歯科医師会会員にのみ配信します。会員のみ登録をお願いします。
登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

友だち登録方法

QR コードで登録する方法

LINE アプリの「友達追加」画面から

「QRコード」を選択。

右のQRコードを読み込んで登録。



登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

LINE の ID 検索で登録する方法

LINE アプリの「友だち追加」画面から「検索」を選択。ID で「@698zzkzc」を検索して登録。

登録後のウェルカムメッセージに会員氏名を必ず返信してください。

今までの配信内容

8月 6日配信	医療広告規制におけるウェブサイトの事例解説書(厚労省)
8月 11日配信	広島県歯科医師会 動画「かみかみ百歳体操」、広島市も期間限定で「かみかみ百歳体操(広島市版)」を公開
8月 28日配信	油断大敵！ワクチン2回接種しても安心できません！(広島市役所)
9月 10日配信	ご確認ください！「妊婦歯科健康診査結果票」について(お願い)
10月 8日配信	本会広報部理事水内裕之氏 RCC テレビ出演のお知らせ 「受診控えは『万病の元』あなたの歯は大丈夫ですか？」
10月 11日配信	補助金のお知らせ～感染防止対策補助金手続き方法
11月 2日配信	第36回おくちの健康展 WEB 開催のお知らせ

新規登録時に 管理者側には登録した方の情報は届きません。必ず「自分の名前」「自分の診療所名」を下段のテキストボックスに入れて送信してください。